

第2次伊勢原市食育推進計画【事業計画・事業評価】

1	担当課等実施主体	子育て支援課			食育目標：1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
マタニティクッキング (母親・父親学級2日目)		妊娠期から出産後の家族の食生活に必要な栄養について学ぶ教室。食事栄養調査を行い自身の食事を振り返る。実演・試食を行い食の体験を通し、望ましい食事の摂り方を理解する。			隔月開催 (年6回)	母親父親学級の実参加者の8割の参加
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		7割参加	9割弱参加	9割弱参加	9割参加	9割参加
事業評価		B	A	A	A	A
報告事項		計画通り年6回実施し、目標の8割を超える9割の参加があった。アンケートでは「食事調査の結果をみて自身の食事を振り返りができ、見直したい。」などの感想が多く、望ましい食事の摂り方を理解する様子が伺えた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価(平成29年度の事業評価を記載)		A	<事業評価指標について> A: 計画どおり進捗した B: 計画どおり進捗できなかった C: 事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		若い世代である妊娠期の母親や父親に向けて望ましい食生活についての食教育を行ない、栄養バランスの改善につながる食育の推進を図る				

2	担当課等実施主体	子育て支援課			食育目標：1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
「ごっくん」離乳食教室		離乳食開始から幼児食まで、基本となる乳幼児期の食生活について学ぶ教室。栄養士講話と離乳食の実演、試食の提供を行う。隔月で母親教室参加者とのふれあい体験を実施。			月1回	月1回実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月1回	月1回	月1回	月1回	月1回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		計画通り月1回実施した。教室開始前に「ふれあいタイム」を実施。同じ月齢の子を持つ親同士の交流の場を設けた。交流を希望する方が多く、好評であった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価(平成29年度の事業評価を記載)		A	<事業評価指標について> A: 計画どおり進捗した B: 計画どおり進捗できなかった C: 事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		離乳食の基本と乳幼児期の食生活についての情報提供と食事指導を行なう。講話や実演、試食を行ない、主食と主菜、副菜が揃うバランスの良い食事を理解し、実践出来る食育の推進を図る。				

3	担当課等実施主体	子育て支援課			食育目標：1 2 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
乳幼児健診での食育および食事相談		各健診において食事相談と集団での食教育を行う。健診会場においてポスターを掲示し食育の普及啓発を行う。			月10回	月10回実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月10回	月10回	月10回	月10回	月10回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		計画通り月10回実施。 各健診において食事相談と集団での食教育を行なった。 健診会場において朝食喫食や共食のポスターを掲示し食育の普及啓発を行なった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		各健診において集団での食教育を行ない、個々の食事相談を行なう。 主食、主菜、副菜の揃う食事の講話やパネルを掲示し、バランスの良い食事を理解し実践できる食育の推進を図る。				

4	担当課等実施主体	子育て支援課			食育目標：1 2 3 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
すくすく健康相談での食育および食事相談		各公民館で乳幼児の食事相談を行う。中央公民館にて栄養士講話・実演・試食を実施。			月3～4回	月3～4回実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月4回	月4回	月4回	月4回	月4回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		計画通りに月3回～4回実施できた。 食事相談の他にも中央公民館にて食育の講話や実演と試食を行ない、好評であった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		各公民館で乳幼児の食事相談を行う。 中央公民館にて集団での食教育・実演・試食を実施し、主食、主菜、副菜の揃うバランスの良い食事を理解し実践できる食育の推進を図る。				

5	担当課等実施主体	子育て支援課			食育目標：12345	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
乳幼児の食生活について普及・啓発		①子育て支援センターや各公民館主催の乳幼児教室において食生活講座を実施。 ②健診会場や各公民館において食に関するポスターやレシピ等の掲示。伊勢原市ホームページに乳幼児の食に関する情報を掲載。 ③レシピの作成、配布。			随時	各事業において、「食育スローガン」の掲示を行い、朝食喫食、朝食共食を啓発する。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		掲示実施	掲示実施	掲示実施	掲示実施	掲示実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		①子育て支援センターや各公民館主催の乳幼児教室において食生活講座を実施した。 ②健診会場や各公民館において食に関するポスターやレシピ等の掲示。伊勢原市ホームページに乳幼児の食に関する情報を掲載した。 ③レシピの作成、配布をおこなった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		各事業においてポスターの掲示やレシピの配布を行ない、食育の普及啓発を行なう。公民館主催の「幼児家庭学級」で試食を提供し、共食によるコミュニケーションを推進する。				

6	担当課等実施主体	子ども育成課			食育目標：12345	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
保育所給食を活用した食育		食を営む力を育成し、望ましい食習慣を身につけ、食べることを楽しめるような給食を実施。また、バイキング給食の実施、地場産物の提供、紙芝居等の媒体を使った食育も実施。			各園にて実施	バイキング給食2～3回実施、栄養士による食育指導を5歳児に月1回実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		バイキング給食2～3回実施 5歳児月1回実施	バイキング給食2～3回実施 5歳児月1回実施	バイキング給食2～3回実施 5歳児月1回実施	バイキング給食2～3回実施 5歳児月1回実施	バイキング給食2回実施 5歳児月1回実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		離乳期は特に保育士と調理員が連絡を取りながら園児の状態に合わせた食事を提供。平成25年に初めて給食で提供した大山きのこカレーを、継続して提供し、伊勢原産のしいたけ、しめじを使用した。バイキング給食では楽しく、そしてバランスよく食べられるように配慮した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		事業名を【保育所給食を活用した食育】給食時間等における食育（保育所）とバイキング給食とに分け、事業を継続実施する。				

7	担当課等実施主体	子ども育成課			食育目標：	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
クッキング保育		調理する楽しさを育て、積極的に食事づくりにかかわれるようにする。			各園年 1～2回	各園年1～2回
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		各園年2回実施	各園年2回実施	各園年2回実施	各園年2回実施	各園年2回実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		収穫した食材を使用して子どもたちが調理を行うことで、食に対する興味、関心、意欲を伸ばすことができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		調理する楽しさを育て、積極的に食事づくりにかかわれるようにする。				

8	担当課等実施主体	子ども育成課			食育目標：	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
園内菜園		食材を育てることを通して食材への興味・関心を促し、自然の恵み、人への感謝の気持ち、命を大切にする気持ちを育む。			各園にて栽培	現状維持
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		各園で栽培した野菜を給食で一部提供した。野菜の成長、収穫を体験し、それを実際に食べることで命を大切にする気持ちを育むことができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		事業名を【保育所活動を通じた食育】保育所等での栽培・農業体験として、継続実施する。				

9	担当課等実施主体	子ども育成課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
保護者への食育の普及・啓発		保護者への食育の普及・啓発を目的に子どもの食事の様子や食育の取り組みを伝える。給食だより、給食試食会、食育・食事相談。			月1回	給食だより月1回配布
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月1回配布	月1回配布	月1回配布	月1回配布	月1回配布
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		平成29年度より名称を給食だよりから食育だよりに変更し、幼稚園、認定こども園にも配布し、子育て支援課とも連携を図り、作成した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		事業名を保育所等の保護者への食育普及・啓発として、継続実施する。				

10	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
教育活動における食育		・食育指導計画により教科や教科外において食育の目標に沿った指導を行う。給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを習得する。教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認する。学校給食を通して、食品の産地や栄養的な特徴等を学習する。栄養教諭及び栄養職員、学級担任等の教諭が連携し、食育を行う。			小中学校14校で実施	小中学校14校で継続して実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		食育指導計画に沿い、栄養教諭及び栄養職員、学級担任等の教諭が連携して指導を行った。給食の準備から片付けを通して、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナー等の指導を行った。また、教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		学校給食・献立を通して、教科等で取り上げられた食品や学習したことを確認したり、食品の産地や栄養的な特徴等を学習する等、平成29年度に引き続き実施。				

11	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校			食育目標： 1 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び外国に伝わる行事食や郷土料理、地域の伝統や気候風土と深く結び付き、先人によって培われてきた多様な食文化があることを知り、伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。 			小中学校14校で実施	小中学校14校で継続して実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		行事食や郷土料理を取り入れた給食献立の実施、ランチルーム・授業での話、給食だよりや資料配布等を行った。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		日本及び外国に伝わる行事食や郷土料理、学校行事等に関係した特別献立を学校給食で実施する。平成29年度に引続き実施。				

12	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルーム 学級単位で年に数回、「ランチルーム」という特別教室で給食を食べ、栄養教諭及び栄養職員による食育等を重点的に行う。 整った食事環境により、楽しく会食することや、食事のマナーを身に付ける。 			全小学校10校で実施	小学校10校で継続して実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		小学校10校で継続実施	小学校10校で継続実施	小学校10校で継続実施	小学校10校で継続実施	小学校10校で継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		各小学校で、ランチルームを実施し、栄養教諭や栄養職員などが、その学年や学級に応じた食育を実施した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		学級単位で年に数回、「ランチルーム」という特別教室で給食を食べ、栄養教諭及び栄養職員による食育等を重点的に行う。平成29年度に引続き実施。				

13	担当課等実施主体	学校教育課 各小学校			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
教育活動における食育		<p>・学校給食における地場産物の使用推進 「かながわ産品学校給食デー」や、「学校給食地場野菜使用推進事業」のほか、年間を通して給食食材に地場産物を積極的に使用することにより、地域の自然、食文化、産業等について理解を深める。 地場産物の生産者や生産過程等を理解することにより、食べ物やそれにかかわる人への感謝の気持ちを育てる。 地域の生産者等と連携した食育を行う。</p>			「かながわ産品学校給食デー」は全小学校、「学校給食地場野菜使用推進事業」は計画的に増加し、全小学校で継続的に実施	小学校10校で継続して実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		小学校8校で実施	小学校9校で実施	小学校10校で実施	小学校10校で継続実施	小学校10校で継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		かながわ産品学校給食デーを、月1回、各小学校で実施。「学校給食地場野菜使用推進事業」については、全10校で毎月1回、地場産物の野菜を給食で使用した。また、地場産物生産者と、年3回の会議を実施した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		「かながわ産品学校給食デー」や、「学校給食地場野菜使用推進事業」など給食食材における地場産物の使用を、平成29年度に引き続き実施。				

14	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
教育活動における食育		<p>・家庭地域との連携 給食だより、学校だより、保健だより、給食試食会、給食衛生委員会等により、学校における食に関する指導の目標や方法、学校給食の意義、役割等について共通理解を図り、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組む。</p>			小中学校14校で実施	小中学校14校で継続して実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施	14校で継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		給食だより、学校だより、保健だよりを発行、給食試食会、給食衛生委員会等を開催し、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組んだ。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		給食だより、学校だより、保健だよりの発行、給食試食会、給食衛生委員会等の開催を平成29年度に引き続き実施。				

15	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校			食育目標： 1 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
思春期栄養改善事業		青年・壮年期以降の生活習慣の出発点である中学生に対し、望ましい食習慣を身に付けるよう促すため、骨密度測定と栄養教育を行う。効果的な食育を行うため、食生活に関するアンケートを行い、中学生の現状を把握する。			全中学校4校で実施	市内4中学校で実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		中学校4校で実施	中学校4校で実施	中学校4校で実施	中学校4校で実施	中学校4校で実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		骨密度測定を取り入れた栄養指導を各中学校で実施。思春期の栄養指導の貴重な機会となった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		骨量測定と栄養教育、食生活に関するアンケートの実施を平成29年度に引続き実施。				

16	担当課等実施主体	教育指導課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
「総合的な学習時間」での取組		地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方について理解を深めたり、農業体験等を通して自分の食生活全般を振り返り、よりよい生活習慣や食習慣を考えたりする。			各学校の年間計画に基づき実施	小中学校14校が年間計画を作成する
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		14校で作成	14校で作成	14校で作成	14校で作成	14校で作成
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		・小学校においては、野菜や米等の栽培や収穫体験、調理実習などを通じて、食べ物への感謝の気持ちをはぐくむ指導等を行った。 ・中学校においては、家庭科や保健体育科の学習を発展させた指導を通じて、自分のより良い生活習慣について考える指導を行った。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		総合的な学習の時間において、充実した食育の実践が行われるような年間計画を作成するとともに、栄養教諭のネットワークを生かし、推進連絡会や研修会を通じて各校の取組について情報交換を行っていく。				

17	担当課等実施主体	教育指導課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
各教科等での食に関する指導		各教科（社会、理科、生活、家庭、技術・家庭、体育、保健体育等）で、それぞれの学校や児童生徒の実態に合わせて創意工夫に努め、食に関する指導の学習を展開する。			各学校の年間計画に基づき実施	小中学校14校が年間計画を作成する
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		14校で作成	14校で作成	14校で作成	14校で作成	14校で作成
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		小学校低学年では生活科、中学年では理科、高学年及び中学校においては、家庭科を中心に食に関する指導を位置づけ、食に関わる内容や食に結びつけられそうな単元を拾い出し、年間計画の中に位置づけて食育指導を行った。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		各教科の学習の目標に、食に関する指導の視点を付け加えることで、家庭科や給食指導以外の各教科の指導で食育ができることを研修会等を通じて周知していく。また、その視点を踏まえた横断的・系統的な年間計画の作成に努める。				

18	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
思春期食育事業		高校生への骨量測定と食教育の実施。			随時	参加者のうち学生割合を50%以上
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		25.0%	64.7%	62.0%	83.3%	82.0%
事業評価		B	A	A	A	A
報告事項		・当初は1校であったが、28年度より市内2校の高等学校において、食育授業や骨量測定等を実施した。 ・また、保護者等の参加が多かった骨量測定を、校内の保健委員会と連携し生徒の参加を促したことで、学生の割合を増加させることができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		・事業名を「高校生のための食育推進事業」として、市内にある県立高校2校への食育を継続する。授業ができない学年や保護者向けにも、特に適正体重維持やそのための食生活についての情報提供など食育普及を実施していく。				

19	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
39歳以下健診		39歳以下の方を対象とした健康診査時に食事相談を実施。			年2回	受診者100%へ食教育及び情報提供の実施。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		100%へ実施	100%へ実施	100%へ実施	100%へ実施	100%へ実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		・年3回健診を実施しているが、食事相談受相者は3～5割程度のため、受診者全員（100%）にリーフレットを配布して、食に関する情報提供を行うことができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		・39歳以下健診時の食事相談やリーフレット配布による食育普及啓発は継続する。30歳代までの若い世代への食育については、特に朝食を毎日食べ、3食バランスのとれた食生活の実践に向けた取組をすすめていくため、これらの内容にポイントをしぼりリーフレット等で継続して普及していく。				

20	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
ヘルスマイト養成講座		食を通じた健康づくりをするボランティアの養成講座。			年1コース（15日間）	毎年8割以上の入会者間
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		7割入会	6割入会	6割入会	9割入会	3割入会
事業評価		A	B	B	A	B
報告事項		年度により入会率は3～9割と大きな変動があるが、養成講座の参加者数も少ないため、ヘルスマイト会員数が減少している。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		年度によって差はあるが、目標の8割に達することができなかった。				
次期計画への取組方針		入会率が低くてもある程度入会者が確保できるように、講座の参加者数を増やしていく。ヘルスマイトの地域活動や、各食育事業等で周知をすすめ、申し込みをすすめていく。				

21	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
生活習慣病予防教室		生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防が目的の教室。運動、栄養士講話や試食など。			年1回	年1回2日間コースで実施。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年1回2日間コース	年1回2日間コース	2日間コースを2種類実施	2日間コースを2種類実施	2日間コースを2種類実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		糖尿病予防を目的とした「早めが肝心！血糖値セミナー」、脂質異常症予防を目的とした「目指せ！サラサラしなやか血管セミナー」を実施できた。また、肥満や骨粗しょう症予防教室なども追加実施し、各個別の疾病に合わせたテーマで開催できた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		生活習慣病の予防をめざし、減塩や適正な脂質のバランス、エネルギー量を理解し、実践できるように高血圧・脂質異常症・糖尿病・骨粗しょう症・肥満の各予防教室を2日間1コースを年間1コースずつ実施。また、教室終了後に、各相談事業やOB会、地域の食育事業等への参加をすすめていく。				

22	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 3 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
OB会（生活習慣病予防教室）		生活習慣病予防の教室終了後に継続して生活習慣を見直すためのグループ活動。			随時	調理実習支援5回及び随時相談の対応をする。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		4回実施	4回実施	4回実施	2回実施	2回実施
事業評価		A	A	A	B	B
報告事項		さつき会（脂質異常症予防教室OB会）が、H27年度末に会員数減少および高齢化を理由に解散したため、実績が減少した。やまぶきの会（糖尿病予防教室OB会）については、平塚保健福祉事務所秦野センター栄養士と連携し、継続して支援した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		会員の高齢化等に伴う団体の解散により、計画どおり実施できなかった。				
次期計画への取組方針		生活習慣病の予防をめざし、減塩や適正な脂質のバランス、エネルギー量を理解し、実践できるように各予防教室終了後に、やまぶきの会への参加をすすめ、継続した参加と支援をしていく。				

23	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
ヘルスアップ相談（食事・運動・生活相談）		生活習慣病予防が気になる方（希望者および通知した方）への食事相談。			年15回	年15回、各回3名ずつ実施（年45名）
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年14回、32名	年17回、49名	年19回、44名	年16回、54名	年12回、29名
事業評価		B	A	B	A	B
報告事項		年間15～20回の開催予定であったが、申し込みが少なく実施回数、参加者共に減少し、5年間の平均参加者数は42名であった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		回数、参加者数共に、計画どおり進捗できた年度とできない年度があった。事業対象者の基準が明確でなく、案内送付数の増減によって差が生じた。				
次期計画への取組方針		ヘルスアップ相談対象者を「検査結果が保健指導値以上で、40～64歳の特定保健指導該当者以外」と明確にし、実施回数や人数・呼び出し方法等を検討しながら取り組んでいく。また、相談終了後も継続して取り組めるよう、他事業等へ参加をすすめていく。				

24	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
骨量測定相談会		骨量測定実施後、食事相談を実施。			年14回	参加者100%へ食教育及び情報提供を実施。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		骨量測定相談会参加者全員に、食育に関するリーフレット等を配布し、情報提供をした。また食事相談を開設し、実施した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		普及啓発のテーマを「バランスの良い食事」とし、特に主食、主菜、副菜のバランスの良い食事についてリーフレットなどで情報提供をすすめる。				

25	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
「簡単！料理レシピ集」の配布・普及		市の各課栄養士（学校教育課・保育課・介護高齢福祉課・健康管理課）で作成したレシピ集。市の窓口や地区公民館、教室などで配布。			随時	継続
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		継続	継続	継続	継続	継続
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		窓口や相談会等で希望者に配布した				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		希望者への配布は継続し、食育ホームページ等への掲載やレシピ集の各種事業への活用をすすめる				

26	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
市民の食生活について普及・啓発		伊勢原市のホームページにて「食育のページ」を作成および更新。各団体やボランティア等へ望ましい食生活について普及・啓発。			随時	ホームページを月1回更新。
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月1回更新	月1回更新	月1回更新	月1回更新	月1回更新
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		インターネット（市食育ホームページ）やSNSで、食育情報の発信を月1回継続した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		特に若い世代が、インターネットやSNSで食育情報を得られるように、月1回の情報発信を継続していく。				

27	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
いせはら食育セミナー		テーマにあわせた栄養士の講話と調理実習。		随時	年間参加者 100人以上	
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		103人参加	119人参加	100人参加	116人参加	103人参加
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		5年間を通じて、目標の年間参加者数は達成できた。中央公民館だけでなく、地区公民館等でも実施し市内に広く普及した。地元農家を講師に実施する回も設け、地産地消を取り込み実施した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		家庭での地産地消をすすめるため、セミナー内で地場産食材などの活用や普及をさらにすすめていく				

55	担当課等実施主体	健康づくり課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
食育料理コンテスト コンテスト		朝食喫食率アップ、楽しい食体験の積み重ねを達成し、市民の健康増進を図るための、小学校5・6年生と保護者を対象とした、朝食料理コンテスト。		新規	30組の応募	
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
				10組の応募	23組の応募	148組の応募
事業評価				B	B	A
報告事項		H27年度から小学生部門のみでスタートし、H29年度には小中高校生部門に拡大し実施したため、実績も大幅に増加した。中高校生については、夏休みの家庭科の宿題として位置づけたので、全体の参加者数は、対象の学年全員に広げることができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		全参加者数を評価指標とし、中高校生は夏休みの家庭科宿題として、継続をめざす。また、小学生についても参加者数を増やせるよう周知していく。				

28	担当課等実施主体	保険年金課			食育目標： 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
特定保健指導		40歳～74歳で伊勢原市国民健康保険加入の人を対象に健診を実施後、必要な人に保健指導（食事相談など）を実施。			随時	継続実施
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		特定保健指導では生活習慣を振り返り、一人ひとりに合った目標を一緒に考え、食事や運動のポイントのアドバイスを利用者各々に6ヶ月間実施した。平成29年度は未利用者対策として、平成28年度に引き続き健康機器を使った測定会付きの特定保健指導を3回開催し、未利用者35名が利用した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		平成30年4月から平成31年3月まで特定保健指導を実施。また、未利用者対策として「通知による勧奨」や「電話勧奨」、インセンティブを付けた保健指導として「健康機器を使った測定会付きの保健指導」等を実施する。				

29	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
(新) 生き生き健康教室 (旧・おいしく食べよう栄養教室)		(新) 生活機能改善のための栄養改善と運動・口腔機能向上をめざした教室 (旧・低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善が目的の教室。 調理実習、栄養講話、運動、口腔ケア等の内容。)			1コース1 2回	(新)実参加者数の増 (旧)参加者の体重維持・増加者の割合の増
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		91%が体重維持、増加	86%が体重維持、増加	89%が体重維持、増加	実人数 8人増	実人数15人増
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		介護保険制度改正により通所型二次予防事業が通所型サービスCに移行したため、低栄養者向け単独の通所型栄養改善事業は廃止となり、平成28年度に引き続き「生き生き健康教室」として、栄養・運動・口腔の複合型事業として実施。管理栄養士は年6回の講義を3コース実施した。参加者は3コース合わせ実人数35名、栄養の回の参加者は延べ179名だった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		より多くの対象者に普及啓発するため、年間4コースに増やすとともに、各地域包括支援センターごとの開催とする。				

30	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
栄養教室同窓会		継続した低栄養予防・改善を目的に実施している、「おいしく食べよう栄養教室」修了者のOB会。調理実習を中心に実施。			年4回	年間参加者100名
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		87名	82名	80名	127名	58名
事業評価		B	B	B	A	B
報告事項		「いきいき健康教室同窓会」として、栄養教室同窓会を他の教室のフォローアップ事業と合同で開催。栄養士、歯科衛生士、作業療法士等がそれぞれ講師となって、複合型の講座として実施した。栄養士は年3回を2コース実施し、適正体重維持のための調理実習や会食、栄養士講義等を行った。栄養の6回の参加者は延べ58名であった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		C	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		これまで、介護予防教室に参加していた方の「同窓会」という位置づけでは、参加者が限られてしまうため。				
次期計画への取組方針		KDBシステムを用い、必要な方へ開催通知するほか、公募を含めて実施する。				

31	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 3	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
訪問栄養相談		低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善を目的に、管理栄養士が訪問栄養相談を実施。			随時	年間対象者（80～100名）の8割程度
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		約7割 （訪問52回）	約9割 （訪問92回）	対象者未把握 （訪問14回）	対象者未把握 （訪問23回）	対象者未把握 （訪問4回）
事業評価		A	A	B	B	B
報告事項		低栄養のおそれのある高齢者に対し訪問を4回（3名）実施した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		制度改正により高齢者全体に対して低栄養の把握を行っていないため、年間対象者数自体の把握はできない。 途中で介護度がついて対象外となった方や、訪問できない状況になった方もいた。				
次期計画への取組方針		地域包括支援センターと連携しながら、必要な方には訪問する体制を整える。				

32	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 2 3	
取組・事業名	事業内容とその目的	現状			29年度目標	
介護予防料理講習会	高齢者向け料理講習会。伊勢原市ヘルスマイトが実施。	各公民館で1回以上実施			年間12回以上	
平成25～29年度の実績	H25	H26	H27	H28	H29	
	12回	12回	12回	12回	18回	
事業評価	A	A	A	A	A	
報告事項	年18回実施し、そのうち4回は男性の初心者向け料理講習会を4回シリーズで実施。参加者は225名であった。各公民館ごとに実施し、内容は、ヘルスマイトによる簡単なメニューの調理実習や講話。					
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）	A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止				
B・Cの理由						
次期計画への取組方針	年18回実施し、そのうち4回は男性の初心者向け料理講習会を4回シリーズで実施する。					

33	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 2 3	
取組・事業名	事業内容とその目的	現状			29年度目標	
出張！簡単クッキング	依頼に応じ、老人クラブやミニサロン等の地域に出向き、調理と試食会の実施。	随時			継続実施	
平成25～29年度の実績	H25	H26	H27	H28	H29	
	2箇所で開催	4箇所で開催	2箇所で開催	2箇所で開催	4箇所で開催	
事業評価	A	A	A	A	A	
報告事項	依頼に応じ4会場で開催した。会場に炊飯器や調理器具を持ち込み、簡単メニューの調理デモンストレーションを行い、参加者に試食してもらった。					
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）	A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止				
B・Cの理由						
次期計画への取組方針	今まで実施したことのない会場などでも実施できるように、ミニサロン等に個別にPRをしていく。					

34	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
高齢者の食生活について普及・啓発		ミニサロンや老人クラブ、地域包括支援センター、ボランティア等へ高齢期の望ましい食生活について普及・啓発。			随時	約60箇所（出張簡単クッキング回数含む）
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		42箇所	43箇所	59箇所	55箇所	47箇所
事業評価		B	B	A	A	B
報告事項		ミニサロン等47回1078名、老人会や公民館高齢者学級、地域包括支援センター依頼事業等においても実施できた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		各団体への周知が不十分であった。				
次期計画への取組方針		毎年、介護予防の食に関するテーマを設け、ミニサロン等で引き続き普及していく。高齢者向けの食育出前講座として、会場に出向けることも積極的にPRしていく。				

35	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
介護予防サポーター養成・育成講座		各地域での介護予防を目的としたサポーターの養成講座。管理栄養士の回の実施内容は、高齢者向けボランティア活動における、食に関する注意点や実施内容等。基礎コースと専門コースをH26から隔年で交互に実施。			2年に1コースの実施	継続養成
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		20名	20名		20名	
事業評価		A	A		A	
報告事項						
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		C	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		介護保険制度の改定に伴いサポーターに求められる役割が変化していることから、見直しが必要。				
次期計画への取組方針		高齢期の食に関するボランティア活動の支援については、ヘルスマイト養成講座や定例会で実施していく。				

36	担当課等実施主体	介護高齢課			食育目標： 1	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
配食サービス希望者への管理栄養士訪問		希望者が申請後、管理栄養士が訪問し栄養アセスメントを実施する。			随時	約30名
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		28名	16名	20名	15名	25名
事業評価		A	B	B	B	A
報告事項		対象者の現状に応じ、担当ケアマネジャーや包括支援センターと連携を取りながら栄養アセスメントや食事相談等を実施した。目標には達しないものの件数が増えた。民間による配食サービスの普及等に伴い、全体的には利用数が減ってきている。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		継続実施。関係者や家族等から相談があった場合に、管理栄養士が訪問し、低栄養や食事が難しい高齢者へ必要なサービスを紹介・導入したり、食事のアドバイスをしていく。				

37	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標： 3 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
農業体験事業（教育ファーム）		米作り（谷戸田オーナー制度）や野菜づくりなど栽培から収穫までの農業体験。			実施	20組
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		12組	20組	18組	21組	15組
事業評価		B	A	A	A	B
報告事項		目標であるオーナー登録数20組に満たない年もあったが、米づくりの農業体験を通じて、谷戸田の原風景を保全するとともに自然と触れ合うことで、農業の持つ多面的機能を理解させることができ、概ね計画どおりの進捗であった。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		H29年度はB評価であったが、5年間で概ね計画どおり実施できた。				
次期計画への取組方針		オーナー登録数を増やせるように受託者と協議等を行う。				

38	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
農業に関するイベント		市民朝市（毎月第1日曜日（10月休み、11月夕市、12月：第1・第3日曜日、1月：第2日曜日）） 野菜・果物・卵・花・落花生など「新鮮・安全・安心」な生産物を販売。			実施	1回で行う出店者数を10店舗以上
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		実施	実施	実施	実施	実施
事業評価		A	A	A	A	C
報告事項		年12回開催し、生産者と消費者の交流を図ることができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		C	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		事業開始から35年が経ち、JA等で直売所が常設されていることなどから、平成29年度をもって、事業を終了した。				
次期計画への取組方針		事業を終了（廃止）した。				

39	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
農業に関するイベント		畜産まつり。 動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めるまつり。			実施	来場者 30,000人
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		中止	10,000人	30,000人	25,000人	35,000人
事業評価		B	B	A	A	A
報告事項		H26年度から、伊勢原市畜産まつりとJAいせはら農業まつりを同時開催し、H29年度には、目標を上回る約3万5千人の来場があった。 これにより、畜産動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めることができた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		多くの方に畜産に対する興味を持っていただき、食の大切さを理解してもらう。				

40	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
農業に関するイベント		みかんの木オーナー制度。 消費者がみかんを収穫できる権利を買い、収穫を楽しむことができる制度。（その年の生育状況によって、新規の募集ができない年も有る）			実施	600本
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		実施	新規募集できず	新規募集できず	新規募集できず	新規募集できず
事業評価		A	B	B	B	B
報告事項		H26年度以後、新規オーナー募集が出来なかったが、2つの観光農業推進組合により、みかんの木オーナー制度が、継続実施された。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		B	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		平成26年度以後、もみかんの木オーナーの新規募集は出来なかった。しかしながら、子供から大人まで、みかんを通して食材に対する興味を持っていただいたと感じている。				
次期計画への取組方針		新規のオーナー募集が実施できるよう、観光農業推進組合と調整する。				

41	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標：	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
市民農園		野菜や花の栽培を通じて自然と触れ合うとともに、自らの健康や家族とのふれあい、農業に対する理解を深めることを目的に、遊休農地等を利用した「八幡谷戸ふれあいガーデン（市民農園）」（高部屋地区西富岡地区）が指定管理者により運営されている。 ●「八幡谷戸ふれあいガーデン」218区画、NPO法人ファームパーク湘南が管理・運営する市民農園「ファームパーク上平間」52区画、「ファームパーク八幡台」54区画 ※「八幡谷戸ふれあいガーデン」の指定管理者は、平成28年4月より変更。			実施	八幡谷戸ふれあいガーデンの利用率46%以上
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		42.1%	32.4%	33.3%	68.0%	65.5%
事業評価		B	B	B	A	A
報告事項		ファームパーク上平間及びファームパーク八幡台は、NPO法人が適正に運営管理を行っており、アグリパーク伊勢原八幡谷戸ふれあいガーデンは、指定管理者の変更以後、利用率が大幅に向上した。（H30年3月末時点） 八幡谷戸ふれあいガーデン：156区画／238区画（利用率65.5%） ファームパーク上平間：52区画／52区画（利用率100%） ファームパーク八幡台：54区画／54区画（利用率100%）				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		利用率の向上について、指定管理者・運営管理者と協議、検討を行う。				

42	担当課等実施主体	農業振興課			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
環境保全型農業の推進		低農薬で化学合成肥料をなるべく使用しない環境にやさしい農業を推進し、安全かつ安心な農畜産物を消費者に提供するとともに都市型農業の振興を図る。			実施	栽培面積450a
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		実施	実施	実施	実施	実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		環境にやさしい農業への取り組みが行われた。 有機農業者による畑作を中心とした栽培が行われた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		地産地消を基本とする都市型農業の総合的推進を図る上で必要な事業として、引き続き実施する。				

43	担当課等実施主体	社会教育課			食育目標：	3
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
公民館における料理教室		「幼児家庭教育学級」「高齢者学級」、夏休みにおける親子を対象とした講座など。幅広い年代に応じた食事の作り方・与え方や、食生活のあり方等を学ぶ。			各公民館年1回以上	各公民館年1回以上
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		各公民館年1回以上実施 (計32回)	各公民館年1回以上実施 (計21回)	各公民館年1回以上実施 (計34回)	各公民館年1回以上実施 (計31回)	各公民館年1回以上実施 (計38回)
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		すべての公民館において、料理教室や食に関する講座等を1回以上開催し、食の大切さを学んだ。 平成29年度実績：35講座（38回） 延べ参加者数 665名 幼児家庭教育学級や高齢者学級においては、対象者の年代に合った食事や食生活のあり方等について学び、自らの食生活を見直す機会となるように努めた。また、公民館によっては料理実習室がなく、調理施設・設備に制約がある中、講座の実施や内容の充実に努めた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		平成29年度と同様に実施予定。 食に対する関心は年々高まりを見せていることから、講座・教室の内容も時代に即した内容を検討するとともに、事業内容について広く住民へ周知する。				

44	担当課等実施主体	社会教育課・人権・広聴相談課			食育目標：123	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
父子料理教室		男性を対象にした日常生活支援及び子育てへの関わりの支援として、父子料理教室を社会教育課の夏休み事業の位置づけで実施する。		年1回	年1回	
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		<p>家庭内での男女共同参画意識の向上と実践を図る講座として実施し、社会教育課と人権・男女共同参画推進担当との共催により父子を対象とした料理教室を実施した。日ごろ家事・育児参加の少ない男性が家事・育児へのかかわりを持てるように支援した。</p> <p>H29年度実績：日時：平成29年8月6日（日）の1回実施 参加者数：父子5組（父…5人、子…6人）計11人参加 夏休み事業として実施し、父と子の交流を図る場としても有効であった。</p>				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<p><事業評価指標について></p> <p>A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止</p>			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		平成29年度と同様に実施予定。 社会教育課と人権・男女共同参画推進担当と連携し、参加者の増員に努める。				

45	担当課等実施主体	子ども育成課・学校教育課・人権・広聴相談課・環境対策課			食育目標： 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
食品の放射性物質検査		子どもの食の安全を確認し、食品の放射能汚染に対する市民の不安を払拭する目的で、給食食材や市民が市内で購入した食品の放射性物質検査を実施する。		学校・保育所給食、市民持ち込み食品を各週1回実施（環境対策課は月に4検体実施）	[子ども育成課・学校教育課] 継続して実施 [環境対策課] 月に4検体実施していく [人権・広聴相談課] 市民の持ち込み件数による	
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		[子ども育成課] 8月まで週1回4品目、9月より週1回2品目 [学校教育課] 週1回2品目実施 [人権・広聴相談課] 持ち込み件数1件 [環境対策課] 217検体（持ち込み件数1件）	[子ども育成課] 毎週2品目検査 [学校教育課] 週1回2品目実施 人権・広聴相談課 [人権・広聴相談課] 持ち込み件数0件 [環境対策課] 168検体（持ち込み件数0件）	[子ども育成課] 毎週2品目検査 [学校教育課] 月2回2品目～6品目実施 [人権・広聴相談課] 持ち込み件数0件 [環境対策課] 92検体（持ち込み件数0件）	[子ども育成課] 月4検体（持ち込み件数0件） [学校教育課] 月2回2品目～6品目実施 [人権・広聴相談課] 持ち込み件数0件 [環境対策課] 46検体（持ち込み件数0件）	[子ども育成課] 月2検体 [学校教育課] 月2回2品目～6品目実施 [人権・広聴相談課] 持ち込み件数0件 [環境対策課] 46検体（持ち込み件数0件）
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		[人権・広聴相談課] 市民を対象とした放射線等検査の受付窓口として、平成24年度及び平成25年度で計7件対応したが、平成26年度から平成29年度まで検査の依頼がないこと及び小学校・保育園の検査結果のすべてが測定限界値未満となっている。このような状況から平成29年度で終了とする。 [環境対策課] 平成24年9月の検査開始からこれまでに測定した食材569検体（平成30年3月末現在）はすべて放射性セシウムの値が測定限界値未満であることや産地や旬が異なるものでも測定限界値未満であることから一定の安全性が確認できた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		C	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由		環境保全課での検査委託業務が終了するため今年度をもって検査を終了する。（市場に流通する農水産物及び加工食品は基準値を下回るもののみが流通し、安全が確保されている。神奈川県等が行う検査結果を確認するなど監視体制は今後も維持する。）				
次期計画への取組方針		[子ども育成課・学校教育課] 基準値を超えるものは検出されなかったこと、市場に出回っているものは安全であることから、平成30年度以降は実施しない。 [環境対策課] 東日本大震災に伴う原発事故による食物汚染に対する市民の不安を払拭する事を目的に、食品放射性物質濃度測定（平成24年9月～）を開始し、平成29年度まで実施してきましたが、現在、神奈川県内の空間放射線量は、原発事故以前の数値に近い状況であり、食品に含まれる放射性物質濃度も基準値以下で推移していること、市場に流通する農水産物及び加工食品は、基準値を下回るもののみが流通するしくみとなっていることから平成29年度をもって食品放射性物質濃度検査を終了します。				

46	担当課等実施主体	JAいせはら			食育目標：	345
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
農業に関するイベント		園芸まつり(園芸シーズン到来を告げるイベント)、農業まつり(実りの秋、収穫の秋を楽しむイベント)、GCふれあいまつり(JA各支所のGC組合員が地域の人々とふれあうイベント) 等。			年1回ずつ開催	現状維持
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年1回ずつ実施	年1回ずつ実施	年1回ずつ実施	年1回ずつ実施	年1回ずつ実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		園芸まつりにおいては、お花のプレゼントや夏野菜苗を中心に販売し多くの人でにぎわいました。農業まつりにおいては、タウン紙等を活用してPRを行うと共にぬりえや書道コンクールを開催した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価(平成29年度の事業評価を記載)		A	<事業評価指標について> A: 計画どおり進捗した B: 計画どおり進捗できなかった C: 事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		29年度と同様に開催予定。				

47	担当課等実施主体	JAいせはら			食育目標：	35
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
JAいせはらふれあい農業塾(教育ファーム)		農作業の技術習得、農業理解につなげることを目的に市内内在在勤の方を募集し、1年間の講義や実習の講座。			月1回	現状維持
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		月1回実施	月1回実施	月1回実施	月1回実施	月1回実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		平成29年度は、20人の塾生へ栽培指導を行いました。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価(平成29年度の事業評価を記載)		A	<事業評価指標について> A: 計画どおり進捗した B: 計画どおり進捗できなかった C: 事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
次期計画への取組方針		29年度と同様に開催予定。				

48	担当課等実施主体	JAいせはら			食育目標： 345
取組・事業名	事業内容とその目的			現状	29年度目標
JAいせはら女性部による料理講習会	子育て中の母親や親子を対象とした料理教室。講師は女性部員。			年1回実施	現状維持
平成25～29年度の実績	H25	H26	H27	H28	H29
	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施
事業評価	A	A	A	A	A
報告事項	7月21日（金）に開催し15組、41人の親子が参加しました。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）	A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由					
次期計画への取組方針	29年度と同様に開催予定。				

49	担当課等実施主体	伊勢原市ヘルスマイト			食育目標： 12345
取組・事業名	事業内容とその目的			現状	29年度目標
伊勢原市ヘルスマイトによる料理講習会	市内6地区公民館を拠点に全てのライフステージを対象に料理講習会を実施。ジュニアクッキング、男の料理教室、生活習慣病予防料理教室、介護予防料理教室、そばづくり、おもてなし料理など。			随時生活習慣病予防料理教室は各地区5回ずつ	市委託事業12回・市交付金事業33回・その他委託事業や自主事業の継続
平成25～29年度の実績	H25	H26	H27	H28	H29
	委託12回・交付33回・その他	委託12回・交付33回・その他	委託12回・交付33回・その他	委託12回・交付33回・その他	委託18回・交付33回・その他
事業評価	A	A	A	A	A
報告事項	市委託事業、交付金事業、協力事業、自主事業、（財）日本食生活協会委託事業、神奈川県委託事業を通年実施。各種テーマで実施し目標を達成できた。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）	A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由					
次期計画への取組方針	委託事業・交付事業や自主事業などを広報等で周知し、より多くの方に参加をしていただき、生活習慣病予防の食事を広めていく。また、まずは会員数の増加をめざし、高齢者向け事業などにおいても、より身近な地域での取り組みをめざしていく。				

50	担当課等実施主体	神奈川県環境農政局			食育目標：	345
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
ふるさとの生活技術指導士		農家・農村地域に受け継がれてきた生活技術を伝承している人を「ふるさとの生活技術指導士」として認定。都市農業の理解や振興を旨とし、郷土に伝わる生活文化の継承活動を推進。			認定者数 神奈川県 280人 伊勢原市 内 8人	事業推進
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		実施	実施	実施	実施	実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		新たに2名（内伊勢原市0名）の方を認定し、累計323名（内伊勢原市16名）となった。新規認定に加え、ふるさとの生活技術指導士の方を対象とした交流会を開催した。地域での取組や食育活動についての発表や座談会を通して、今後の活動やふるさとの生活技術指導士としての役割などについて活発な意見交換が行われた				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
今後の取組方針		H29年度と同様に実施				

51	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
食の安全安心に関する情報提供		神奈川県、秦野保健福祉事務所及び市のホームページ等により食の安全安心に関する情報提供の充実。食の安全安心に関する情報誌、資料等の積極的な提供。			随時	随時(数値化困難)
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		<ul style="list-style-type: none"> ホームページによる食の安全・安心に関する情報提供 食中毒予防キャンペーンにおけるパンフレットの配布 大学及び高校の学園祭における食品衛生に関する講習会の実施 小学6年生を対象とした情報誌「かながわの食品衛生for KIDS」の配布 				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
今後の取組方針		引き続き、食の安全・安心に関する情報提供を積極的に行っていく。				

52	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター			食育目標：	5
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
栄養表示等普及啓発及び活用推進事業		消費者に対する適正な食品情報の提供及び提供された情報の健康増進に資する活用をめざして、食品表示法に基づく食品表示制度の普及並びに健康増進法に基づく特別用途食品制度の運用、さらに食品の健康保持増進効果等に関する誇大表示等の禁止に係る普及啓発を行う。			随時	随時
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月1日から食品表示法が施行されたことに伴い、原則として一般消費者向け加工食品及び添加物について、栄養成分表示が義務付けられた。 新しい表示方法について、事業者からの相談に対応すると共に、住民が栄養成分表示を健康づくりに役立てることができるように、表示の正しい見方とその活用法について普及啓発を実施した。 				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
今後の取組方針		引き続き、事業者からの相談に応じると共に、住民や事業者に対しても栄養成分表示について普及啓発し、活用を推進する。				

53	担当課等実施主体	伊勢原協同病院			食育目標： 1 2 3 5	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
地場産フレッシュ野菜を使ったお料理教室		季節の地場野菜を使用した料理教室。食事と生活習慣病、簡単ストレッチを管理栄養士が指導。			年3回	年3回
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年4回	年3回	年4回	年4回	年4回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		調理実習および、それぞれのテーマに合わせたミニレクチャーを行った。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
今後の取組方針		同回数、テーマを変えて実施予定。				

54	担当課等実施主体	伊勢原協同病院			食育目標： 1 2 3 4	
取組・事業名		事業内容とその目的			現状	29年度目標
メンズビギナークッキングスクール		初心者向け男の料理教室。基本的な料理の仕方、食事と病気について管理栄養士が説明。			年3回	年3回
平成25～29年度の実績		H25	H26	H27	H28	H29
		年3回	年3回	年3回	年3回	年3回
事業評価		A	A	A	A	A
報告事項		調理実習および、それぞれのテーマに合わせた生活習慣病予防についてのミニレクチャーを行った。また、当院看護師が参加し、希望者に血糖、血圧測定を実施し、測定値の高い参加者に受診を促した。				
第2次伊勢原市食育推進計画における最終事業評価（平成29年度の事業評価を記載）		A	<事業評価指標について> A：計画どおり進捗した B：計画どおり進捗できなかった C：事業の見直し・廃止			
B・Cの理由						
今後の取組方針		同回数、テーマを変えて実施予定。				